

# 戸倉が丘

うつくしく心よそだて

たくましく体よそだて

するどく知性よそだて

函館市立戸倉中学校

〈重点教育目標〉

主体的に学び合い

心豊かにたくましく活動する

生徒の育成

第7号 2023.10.6 (Fri)

## ◇文化祭を振り返って

### 文化祭担当 野中 尚子

第51回となる今年の文化祭が、皆さまのご支援と協力のおかげで、大変成功したものとなりましたことを心より感謝申し上げます。生徒たちの素晴らしい成果を見守り、応援していただき、誠にありがとうございました。

文化祭は、生徒たちが自己表現やチームワークを発揮し、新しい経験を積む素晴らしい機会となりました。彼らは情熱と創造力を持って、数週間にわたる準備をしてきました。その成果を発表する場としての文化祭は、彼らにとって非常に重要な瞬間でした。

意見発表、英語暗唱では、生徒たちの堂々とした発表が印象に残りました。合唱コンクールでは、どの学級もこれまでで一番素晴らしい歌を披露することができていたと思います。

毎年注目の吹奏楽部ステージでは、文化祭にふさわしい選曲と楽しいダンス&プレイで会場を大いに盛り上げてくれました。戸倉満載では、生徒たちの自主性が存分に発揮され、若さあふれるエネルギッシュなステージを魅せてくれました。準備時間も少ない中で、アイデアを出し合い、開会式・閉会式を盛り上げてくれた生徒会総務、実行委員会の熱意あふれる働きも印象に残っています。

生徒たちが、このように充実した活動ができましたのも、ひとえに各ご家庭での支えがあったることと存じます。部活動をはじめ、意見発表や英語暗唱、戸倉満載の練習や楽器運搬など、様々な面でのお力添え、本当にありがとうございました。文化祭が成功するためには、保護者の皆さまをはじめ、地域の皆様のご協力が不可欠であり、それが実現しましたことを教職員一同、光栄に思っております。

今後の学校生活において、生徒たちは、文化祭で得た経験を活かし、大きく成長してくれることと思います。また、中学校と保護者の皆様、地域との協力が今後とも不可欠と考えております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、保護者の皆様に感謝の意を表すとともに、素晴らしい文化祭を共に過ごせたことに心からの感謝を申し上げます。今後の学校行事においても、皆さまのご支援をお願い申し上げます。



本学校通信は戸倉中学校ホームページからもご覧いただけます。  
※学校評価アンケートの集計結果と全国学力学習状況調査の正答率も掲載しています。ご確認ください。

アドレス <https://hakodate-tokura-jhs.info/>

QRコード



## 全国学力学習状況調査の分析・考察

### 【国語】

全体的には、全国平均と比較しても「無解答率」が低いことは、良い傾向だと言えます。「落胆する」の意味や「『推』し量る」の漢字変換が良い結果となっていることは、語彙力も全国に比べ決して劣っていない点として挙げられます。課題としては、問題の文章を正確に読み、筆者の主張の重要な部分を捉えるだけの読解力が身につけていない者がやや目立つこと、問いの求めている条件を丁寧に把握して解答できていない点が挙げられます。また、他の試験などでも共通してみられる「現代仮名遣い」と「口語訳（現代語訳）」の意味が正確に理解できていないこと、また1年時の学習の「竹取物語」の学習内容の未定着など、語彙力とは違った面での知識不足の補充が今後求められます。

### 【数学】

- 「A 数と式」の領域では、自然数の意味を問う問題、文字式の乗法を計算する問題、事柄が成り立つことを説明する問題の正答率が全道・全国の平均を下回っています。数学的用語の意味を正しく理解すること、文字式の乗法を含めた四則計算を再度確認すること、文字を用いて根拠を明らかにしながら理論立てて説明できるようにすることが今後の課題になります。
- 「D データの活用」の領域では、累積度数の意味を問う問題、複数のデータを比較・分析し、判断の理由を説明する問題、四分位範囲の意味を問う問題が全道・全国の平均を下回っています。数と式の領域と同様に数学的用語の意味を正しく理解すること、数学的な表現を用いて判断の基準を明らかにしながら説明できるようにすることが今後の課題になります。
- 「B 図形」の領域では、平面が一つに決まる条件を問う問題、事柄が成り立つことを証明する問題の正答率が全道・全国の平均を上回っています。

### 【英語】

- 問題1～4のリスニング問題は正答率も高く、無回答はありません。英語を聞き、正しく内容を理解する能力は優れていると言えます。
- 問題5～7の英文を読み、内容について設問に答える問題では、選択肢から正しいものを選ぶ形式でした。英文の内容と設問にある英文を読んで理解することはできています。空所補充問題も、基本的な英単語や英文法を理解し、適切に使用することも概ねできているようです。
- 問題8～9の設問は条件のある英作文を書く問題となっていました。「条件に合わせて、自分で適切な英文を書く」ことが苦手であることがわかりました。解答できなかった生徒も他の設問に比べて多かったようです。
- 「話すこと」のテストは、その場で英文を聞き、対応した英文を話すことに苦手意識を持つ生徒が多いです。
- 総評として、既習の英文を使って自分の考えや思いを論理的に書くこと、即興的に英文を話すことが課題となります。アウトプット型の学習を充実させ、基礎・基本の定着とともに総合的な英語力の向上を図る必要があります。

## ◇1学期末 学校評価の分析と考察◇

### 【教務に関わる項目】（学習面）

- 今後も継続して授業改善（ICT 機器を効果的に用いる工夫等も含め）を図り、生徒が「どのような取り組みをして、どのように変容したのか」について、学校便りやHPを通じて、より分かりやすく保護者に発信していくよう改善を図っていきます。

### 【生徒指導に関わる項目】（生活面）

- 生徒一人ひとりの様子にきちんと目を向け、保護者とも連絡・連携をとりながら信頼関係の構築を図り、今まで以上に生徒の健全育成に努めていきます。
- 生徒のICT機器やSNSの利用状況をしっかりと把握し、適切な情報モラル教育を実施していきます。

### 【総務に関わる項目】（教育目標・学校行事）

- 保護者の願いや考え、教職員の考えについて集約し、保護者が理解しやすい重点教育目標の設定を検討しています。その目標を達成するために、教職員が一丸となって日々の教育活動に取り組みます。

※学校評価アンケートの集計結果や全国学力学習状況調査の正答率についてはホームページに掲載しています。  
ホームページのアドレスやQRコードは表面に載せてあります。そちらをご確認ください。